

令和6年度 岩手県自主防災組織リーダー研修会 実施報告書



令和6年11月17日(日)、30日(土)
共催／一般財団法人 日本防火・防災協会、岩手県
後援／総務省消防庁

令和6年度岩手県自主防災組織リーダー研修会実施要領

1 目的

地域防災活動の核となる自主防災組織において指導的役割を担う人材を養成するとともに、自主防災組織の活性化、地域防災力の強化に資することを目的とする。

2 実施主体

岩手県、一般財団法人 日本防火・防災協会

3 対象者

- (1) 岩手県内の自主防災組織において指導的立場にある者又はその補佐的立場にある者
- (2) 今後、自主防災組織を結成しようとする者
- (3) 自治体防災担当職員

4 開催概要

(1) 内陸地域在住者向け

ア 日時

令和6年11月17日（日） 10時から17時まで（9時30分受付開始）

イ 場所

公立大学法人岩手県立大学（滝沢市菓子152-52）共通講義棟 301 講義室

(2) 沿岸地域在住者向け

ア 日時

令和6年11月30日（土） 10時から17時まで（9時30分受付開始）

イ 場所

宮古市地域創生センター 多目的ホール（宮古市神林3番1号）

5 研修内容

9:30~ 9:50	9:50	10:00~12:00	12:00 ~ 12:40	12:40~13:40	13:40 ~ 13:50	13:50~14:20	14:20 ~ 14:30	14:30~17:00	17:00~
受付	事務連絡	講演 「教訓・すべての答えは現場にある。」 ～東日本大震災・岩泉台風10号から学ぶ～	休憩	講演 「岩手県の気象災害について～防災気象情報の活用～」	休憩	情報提供 「避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について」	休憩	演習、グループワーク (クロスロードゲーム)	事務連絡
	岩手県 防災課	弘前医療福祉 大学短期大学部 荒谷 雄幸 講師		盛岡地方気象台		岩手県復興 くらし再建課		コーディネーター： 東北大学 柴山 明寛 准教授 塚本 清孝 氏	岩手県 防災課

6 その他

- (1) 受講希望者が多い場合は、人数調整することがあること。
- (2) 研修の内容は、都合により変更する場合があること。
- (3) 詳細については、受講者決定の際、連絡すること。

研修会の概要

1 開講式・オリエンテーション

岩手県復興防災部防災課

開講に際し、事務局である岩手県復興防災部防災課から受講者に向けて挨拶を行い、研修会の目的や施設利用等に係る留意事項について説明しました。



2 教訓・すべての答えは現場にある。～東日本大震災・岩手県復興防災部防災課～

弘前医療福祉大学短期大学部 荒谷 雄幸 講師

弘前医療福祉大学短期大学部 荒谷講師から、講師が消防士時代に経験した東日本大震災と台風10号災害の教訓について講義がありました。

講義では、過去の災害の体験談をはじめ、災害時の避難所運営や、男女共同参画の防災、地域防災の重要性等について講義がありました。

また、講義の中では、ロープや毛布等を使用した人命救助の実技演習や、早押しクイズ等の時間も設けられ、多くの受講者が関心を示しておりました。

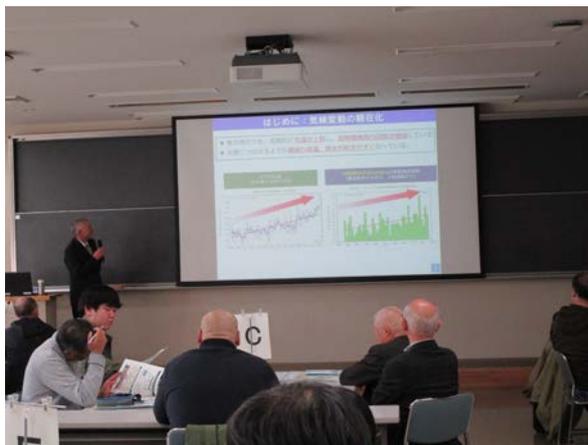
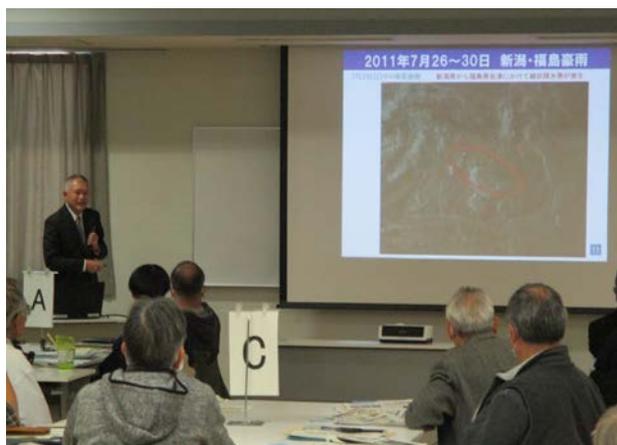


3 岩手県の気象災害について～防災気象情報の活用～

盛岡地方気象台 藤井 政志 次長

盛岡地方気象台 藤井次長から、近年の大雨災害、気象台が発表する防災気象情報の内容及び命を守るための気象情報の利活用について講義、解説がありました。

講義の中では、過去の豪雨災害の特徴をはじめ、気象台が発表する防災気象情報、キキクルを利用した気象情報の活用等についての説明があり、防災活動における気象情報の活用の重要性を認識しました。



4 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について

岩手県復興防災部復興くらし再建課

岩手県復興防災部復興くらし再建課からは、「避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について、説明がありました。

県内市町村の作成状況や、個別避難計画作成の流れ、作成における課題等について説明があり、三助（自助・共助・公助）の連携の重要性について認識が深まりました。



5 演習、グループワーク

東北大学 柴山 明寛 准教授
岩手県地域防災サポーター 塚本 清孝

東北大学柴山准教授と岩手県地域防災サポーター塚本清孝様をコーディネーターとして、「クロスロードゲーム」を実施し、災害対応における状況判断力を磨く演習・グループワークを行いました。

災害発生時には、状況に応じて様々な選択肢を検討する必要があることをグループで話し合い、楽しみながら実践的な災害対応のポイントについて学習しました。



令和6年度 岩手県自主防災組織リーダー研修会 アンケート

この度は、研修会に御参加いただきありがとうございました。今後の研修会の開催に向けて、皆様の御意見をお伺いしたいと思いますので、該当する番号に○を付けていただくとともに、具体的な御意見がございましたら御記入願います。

1 本研修全般について（4段階で評価して下さい。）

大変役に立った 役に立った ふつう あまり役に立たなかった
1 2 3 4

【研修全般に関する御意見があれば御記入願います。】

2 それぞれの科目の内容について（5段階で評価して下さい。）

(1) 講演 「教訓・すべての答えは現場にある。」～東日本大震災・岩泉台風10号から学ぶ～
（弘前医療福祉大学短期大学部 荒谷 雄幸講師）

良かった ふつう 悪かった
1 2 3 4 5

【科目に関する御意見があれば御記入願います。】

(2) 講演「岩手県の気象災害について～防災気象情報の活用～（盛岡地方気象台）

良かった ふつう 悪かった
1 2 3 4 5

【科目に関する御意見があれば御記入願います。】

(3) 情報提供 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について（県復興防災部復興くらし再建課）

良かった ふつう 悪かった
1 2 3 4 5

【科目に関する御意見があれば御記入願います。】

(4) 演習、グループワーク（東北大学 柴山准教授・岩手県地域防災サポーター 塚本清孝氏）

良かった ふつう 悪かった
1 2 3 4 5

【科目に関する御意見があれば御記入願います。】

3 研修会の日程について

(1) 日数についてどうですか？

日帰りが良い 1泊2日が良い 2泊3日が良い

(2) 開催する曜日はいつがよろしいですか？

平日が良い 土曜日が良い 日曜・祝日が良い

(3) 時期について、何月に開催したら参加しやすいですか？

月の開催

4 その他、気づいたことや改善点があれば、御記入ください。

アンケートへの御協力、どうもありがとうございました。

岩手県復興防災部防災課

令和6年度岩手県自主防災組織リーダー研修会 アンケート集計結果

(令和6年11月17日(日)実施 受講者31名中アンケート回答者30名)

(令和6年11月30日(土)実施 受講者24名中アンケート回答者23名)

	1 研修全般	2(1)	(2)	(3)	(4)
【評価】 1(良かった)・2・3(ふつう)・4・5(悪かった)					
1	1	1	2	1	1
2	1	1	1	1	1
3	1	2	2	3	1
4	1	1	1	3	1
5	1	1	1	1	1
6	1	1	3	3	1
7	1	1	2	1	1
8	1	1	1	1	1
9	1	1	1	1	1
10	1	1	2	2	1
11	1	1	1	1	1
12	1	1	2	3	2
13	1	1	1	1	1
14	2	2	2	3	2
15	1	1	1	1	1
16	1	1	1	1	1
17	2	2	2	2	2
18	1	1	1	1	1
19	3	3	3	3	3
20	2	2	3	3	2
21	2	1	2	3	1
22	1	1	1	1	1
23	2	2	2	3	2
24	-	1	3	3	1
25	2	1	1	2	3
26	1	1	1	1	1
27	2	2	2	-	1
28	2	2	2	-	1
29	1	1	1	2	1
30	2	2	2	2	2
31	-	1	1	2	1
32	-	2	1	1	1
33	1	1	1	1	1
34	1	1	1	3	1
35	1	1	1	1	1
36	1	1	1	1	-

37	2	1	2	2	2
38	1	1	1	1	1
39	2	3	2	2	2
40	1	1	3	3	1
41	-	1	2	2	2
42	1	1	1	3	1
43	1	1	1	3	-
44	2	1	1	1	1
45	2	2	2	3	1
46	1	1	1	2	1
47	1	1	1	1	1
48	-	2	2	3	1
49	-	1	3	5	1
50	3	3	3	5	3
51	1	1	1	3	1
52	1	1	1	1	1
53	-	1	-	1	1
評価 1	31	39	28	22	39
2	13	11	17	10	9
3	2	3	7	17	3
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	2	0
-	7	0	1	2	2

※11月30日宮古市開催のみ抜粋しています。
※極力、原文のままとしています。

1.本研修全般について

- ・知識習得の他、体験・実演の機会もあり、身になった。
- ・大変分かりやすく、飽きずに聞くことができました。実技がとてもタメになり、また参加したいです。
- ・グループワークでたくさんの人の意見を聞いて勉強になった。
- ・避難所運営で、女性の声を生かすことが参考になりました。
- ・今回で3年連続で参加させてもらいましたが、毎回新しい情報を聞けて、大変勉強になりました。
- ・防災士の役割とは、災害が起きてからの行動もそうですが、気象データから災害を予測することも大事だと思いました。
- ・時間を守って進んでほしい。
- ・コロナ対策や防寒のアナウンスがあっても良いと思う。会場の床が寒くない時期が良い。

(1)講義・演習(弘前医療福祉大学短期大学部 荒谷 雄幸 講師)

- ・東日本大震災で実際に救助に関わったものとしての、実際の状況が聞いて参考になりました。
- ・大変分かりやすく、また参加したいです。
- ・阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震それぞれのことを詳しく知り、避難所運営などについても学べたので、これからの生活に活かして行きたいと思った。
- ・冷えたカップラーメンを食べて、温かい方が美味しいんだなと実感できた。
- ・省略部分も聞きたかったし、見たかったなと感じた。
- ・クイズを盛り込んだ講話で分かりやすく、楽しい時間を過ごせた。
- ・現場体験から教訓を伝えていることが、消防・防災士にとって分かりやすく、良かった。
- ・色々な角度からのお話で、楽しく学ばせてもらいました。
- ・防災は楽しくなければ続かないということで、とてもおもしろくお話くださって楽しい講演でした。
- ・現場を経験した人の話はためになります。私たちは当事者として経験はありますが、助ける側の人の話を聞いて良かったです。
- ・実体験の話や、災害時の心構え等、参考になった。

(2)講義(盛岡地方気象台)

- ・気象情報の見方が聞け、また、キキクルの話も聞けたので、自助の役に立ちそう。
- ・普段の生活にも役立つ情報だった。
- ・岩手県の気象や「キキクル」について知り、これから役に立つことをたくさん学ぶことができた。
- ・岩手県は広範囲のため、災害時には細部まで注視することが重要と思う。
- ・宮古市は東西に長い地域なので、川井・区界まで沿岸北部とするのは無理があるのでは？
- ・簡単にわかる気象図の読み方も少し説明してもらえれば良かった。
- ・気象の講演はなかなか聞く機会が無かったので、とても良かったです。知識がつけば役立つと思いました。

(3)情報提供(岩手県復興防災部復興くらし再建課)

- ・計画の存在や経緯が分かり、ためになった。計画の見本などを見てみたかった。
- ・課題についての対応策を知りたかった。
- ・避難行動要支援者名簿の作成や、個別避難計画作成など、1つずつ詳しく知ることができたため勉強になった。
- ・個人情報収集について、どこからどこまで踏み込んでいいのか分からない。
- ・個別避難計画の必要性は感じるが、支える側も高齢で難しい。
- ・個別避難計画作成における住民とのふれあいが、近年少なくなり、近隣対話を多くできればよい。
- ・計画作成の雛形を作成しておく、作りやすいと思います。
- ・要支援者避難の具体的な仕方等、難しいところや課題の解決の仕方を教えて欲しかった。

(4)演習・グループワーク(東北大学 柴山准教授、塚本清孝様)

- ・能登半島地震と東日本大震災の事例比較が興味深かった。
- ・色々な意見があって共有できて、たくさんのことを学べたのでこれからの生活に活かしたい。
- ・柴山先生の最新情報がタメになりました。
- ・他の人の意見を聞くことが、自分の考えを広げることが分かった。
- ・時間がもっと欲しかった。良い話が多く、自分の考えのプラスになりました。
- ・勉強になり、楽しく演習ができました。

R6. 11. 17 令和6年度岩手県自主防災組織リーダー研修会（滝沢市開催）

【IAT 岩手朝日テレビ】



【テレビ岩手】



R6. 11. 30 令和6年度岩手県自主防災組織リーダー研修会（宮古市開催）

【テレビ岩手】

